学校番号	3033

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

☆筆による多様な線の表現を楽しく学ぶ
・漢字の書……楷書を中心に　同じ一本の筆から様々な雰囲気の線の表現が生まれることを学ぶ。
・仮名の書　漢字から平仮名への簡素化のルーツを理解してその上で　単体連綿・全体の構成など学ぶ。百人一首。
・漢字と仮名の調和した表現の工夫。
・篆刻、篆書体を学ぶと共に　印刀の扱い方など基本的な彫り方をまなぶ。作品に押印することによって生ずる効果を知る。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現方法や形式、書表現の多様性についての理解を深めると共に、表現や鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。
【思考力、判断力、表現力等】
書の造形的な美しさを感受し、表現の意図に基づいてその技術を高める、書の伝統と文化の意味や価値についての理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創作活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育てると共に、感性を大切に想像力を豊かにする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。 筆の機能（弾力性など）を理解し表現しようと努力している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。 様々な人間的かつ創造的な書に向き合って未経験の創造的発見をしていく中で、ものを造る楽しさを学び、ものごとに取り組む姿勢、書を愛好する姿勢を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2年前期	中国古典の臨書	『曹全碑』 『顔氏家廟碑』他 臨書から創作へ 少字数作品にも挑戦	a:書の表現や形成を臨書を通して幅広く学ぶ。時代や書人によって異なる表現法を効果的に身に付ける。 b:人間としての書の美しさを感受し味わい、伝統と文化の意味や価値を考えて取り組もうとしているか。 c:線の美しさ・生命感に感動して取り組んでいるか。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート
	創作	『春望』 漢字1~2字の少字数作品 文化祭へ	a:詩の意味を理解し、書の表現の方法や形成について学んできた基礎的な技能を生かして表現している。 b:伝統的な書の良さや美しさを古典から学び、自分の創作作品に構想・意図している。 c:主体的・積極的に自分の表現に取り組む姿勢を持って活動している。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート
2年後期	古代文字創作	甲骨文字 木簡	a:文字の起源を学ぶ。古代の人々の生活から発生した文字の創造性を味わい、古代の文字を理解し表現する。 b:文字の成り立ちの意外性造形性に基づいて作品を制作する。様々に変転してきた文字の形を味わい、その表現を工夫する。 c:古代の人々の豊かな発想にふれ、そこから主体的に自分の造形に向かっている。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート

	漢詩	共同作品制作 4人のグループで作品のテーマを考え 共同で一つの作品を制作	a:詩の意味を理解し、学んできた書の形式や創作への意図が効果的に表現されている。 b:伝統的な書の美しさについて考える。 c:共同作品に挑戦するにあたって、それぞれ個々が主体的に協力的に取り組んでいる。	作品提出 ワークシート	作品提出 ワークシート	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度